



こばやし・まもる 鹿沼市生まれ。東京教育大卒。鹿沼市役所勤務を経て県議2期、衆院議員4期。民主党副幹事長など党の要職を歴任した。

持ちがあった。受諾する
には(離党など)条件整
備が必要で、マイナス面
をなるべく減らそうと、
七月中に福田氏を連れて
支持者を回り引き継ぎを

した。八月八日の衆院解
散は予想外。福田氏の得
票を見れば、選挙への影
響は少なかつたと思う」
前市長選では阿部
市長の対抗馬として立候

を応援してきたが、私と

補を検討した。阿部市政
に批判的立場と見ていた
人も少なくないのでは。
「過去には互いの選挙
で支援し合った間柄。不
倶戴天(ふぐたいてん)

の敵ではない。市長選に
出ようと思ったのは、泥
仕合ではなく、政策論争
ができると思ったから
だ。市長は自民党系候補

の関係を自民と民主の
対立関係はそのまま当て
はまらない。鹿沼を良く
したいとの思いは同じ
だ」

の使命だ。憲法改
正が議論されているが、
改憲は政治課題であり教
育の課題ではない」

鹿沼市北大飼中生徒
のいじめ訴訟で学校側の
過失が認定された。いじ
めや不登校などの課題へ
の取り組みは。

鹿沼市長と市長の関係
のあるべき姿は。
「教育長は立場上、市
長の選挙支援もできな
い。教育長が市四役とい
う位置付けでは、教育の
中立性、独立性が奪われ
ることになる。教育行政
の指揮監督は教育委員会
だ。一方で一般行政との
連携も必要で、調和やバ
ランスにも配慮したい」

「政治家としての信条
は護憲だった。教育長と
して憲法をどう考えます
か。
「教育の中立性や独立
性は、憲法や教育基本法
の中にある。その理念を
具現化することが公務員
聞き手
鹿沼支局 増田明子

「いじめが起きてしま
ったことは真摯(しん
しん)に受け止めなければ
ならない。次の世代が健
全に安心できる状態で育
っていないとの危機感を
持っている。基礎学力を
付けた上で生きる力を養
うことが必要。長い目で
見れば、いじめや不登校
の対策につながるはず
だ。教育するなら鹿沼が
いいといわれるような環
境を目指したい」

聞き手
鹿沼支局 増田明子

聞き手
鹿沼支局 増田明子